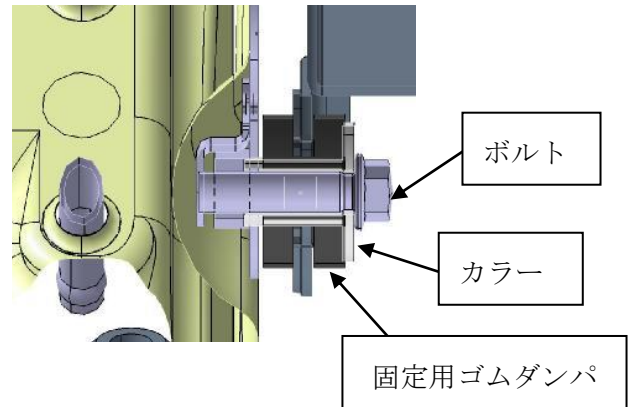


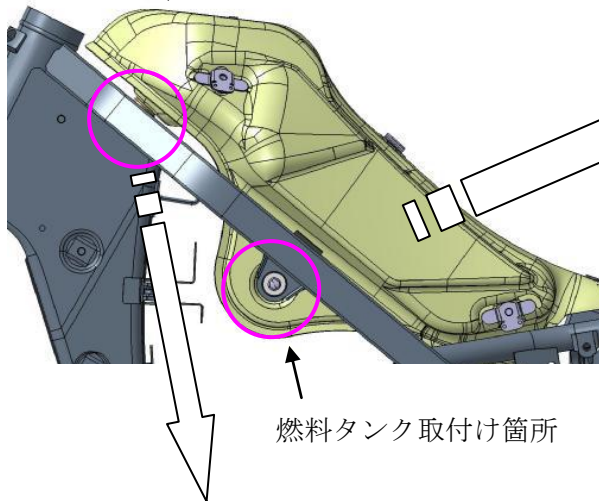
改善箇所説明図②



燃料タンク取付け箇所の拡大断面図



燃料タンク



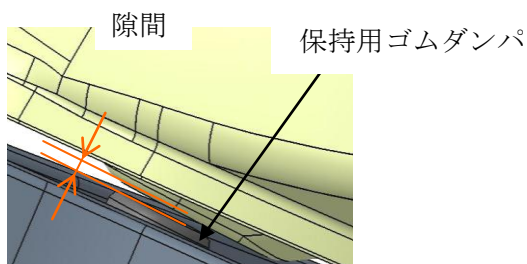
燃料タンク取付け箇所溶接部



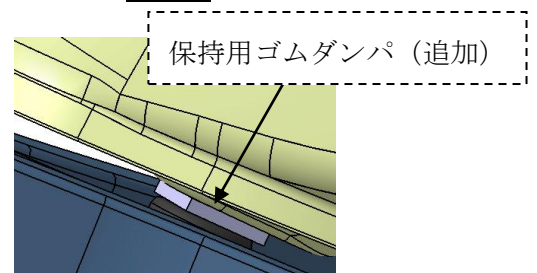
基準不適合発生箇所

燃料タンクにおいて、取付け構造が不適切なため、燃料タンクと固定用ゴムダンパの間に隙間が生じ、防振効果が不十分となる場合がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、振動により燃料タンク取付け箇所溶接部に亀裂が生じ、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。

改善前



改善後



注： は、交換部品を示す。
 は、点検結果により交換および追加する部品を示す。

改善の内容

全車両、燃料タンク取付け箇所溶接部を点検し、燃料にじみまたは漏れがある場合はタンクを新品と交換する。また、全車両、タンクの固定用ゴムダンパを新品に交換するとともに、カラー、ボルトを対策品と交換する。更に、タンクの保持用ゴムダンパとタンク底板との隙間を点検し、隙間に応じた保持用ゴムダンパをタンク底板に追加して貼り付ける。

識別：交換されるカラーの色が異なることにより識別が可能であるため、特別な識別は行わない。